

広報・教育部門

応募事例名

自助・共助・公助で大雨に備える ～「ともにつくる 大雨に強いまち なごや」～

応募団体名)名古屋市上下水道局

大雨に備えた準備強化週間

平成30年は、5月20日(日)～5月26日(土)

自助・共助の啓発

下水道の役割(公助)

名古屋市上下水道局では、平成18年度から毎年、雨期の前に「大雨に備えた準備強化週間」を設けて、お客さまに「自助・共助・公助」による浸水対策への理解を深めていただくよう取り組んでいます。

◆雨水ポンプ所一般公開◆ 12年間で雨水ポンプ所 **30箇所** 総来所者数 **2,451人**

ハザードマップで
自宅の浸水深をCHECK!



自助・共助の
啓発

家の入口に簡易防水を!
雨水の浸入を抑制



ポンプを稼動! エンジン音と振動で
下水道のスケールの大きさを体感



公助の
見える化

雨水ますの清掃は
浸水対策に効果的なんだ!



職員も積極的に雨水ます清掃



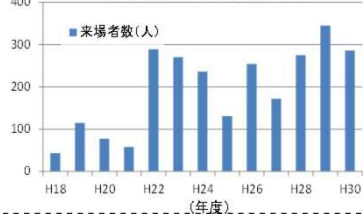
スケルトンの管を採用



高圧洗浄車による下水管の
清掃作業を実施

PRポイント

来所者数の推移(人)



近年では、
毎年、300人近い
来所者数を
記録しているよ。



雨水ポンプ所の一般公開はマスメディアに取り上げられ、**市内外へ広く知られること**になりました。



マスメディアによる
パブリシティ効果

■ 具体的効果について



【アンケート結果】

・来所者の9割以上の方に、「大雨に備えた準備は必要」と回答いただきました。

【主な意見】

- ・家庭でできる浸水対策や下水道の役割・重要性について理解できました。
- ・高圧洗浄車のすごい水しぶきに驚きました。

